

大学生の力を利用した集落復興支援事業
東北大学 × 大久田区

2014年2月1日
地域づくりオープンカフェ

東北大学地域密着Lab &

古殿町 大久田地区



発表内容

- I. 集落の概要や現状
- II. 昨年度提示した活性化策の概要
- III. 本年度実施した実証実験
 - 3つの活動
- IV. まとめ

I 集落の概要や現状 (昨年度の取り組み)

• 地区の特徴

– 人口

- 高齢化率 31.4%
- 人口減少率 -21.9%

– 自然

- 国有林の面積率
57%

– 農業

- 耕作面積 小
- 耕作放棄 大

• 地区の問題点

- 高齢化よりも人口減少
- 自営農家の高齢化

• 地区の魅力

– 豊かな自然

- 越代の桜
- 大風川溪谷
- スギ林 など

– 人材

- リーダーシップ
- 若い力
- 女性

– 地域ぐるみのイベント

- 桜祭り
- 流鏝馬
- フォトコンテスト

Ⅱ 昨年度提示した活性化策の概要

方法	カテゴリー	可能性	メリット	デメリット
直売所へ農産物出荷	資源の活用	△	収入源	大量生産が難しい
郷土料理の提供	ツーリズム	◎	収入源, 女性の参画	場所と時間の確保
山菜採り体験の実施	ツーリズム	○	郷土料理と連携, 交流人口	放射能の問題
イノシシ狩りの受け入れ	ツーリズム	○	獣害対策, 交流人口	放射能の問題
林産物教育の展開	資源の活用	◎	地域貢献	収入と結びつかない
林業体験の実施	ツーリズム	○	林業を活用, 交流人口	担い手の確保
バイオマス発電の導入	資源の活用	△	林業を活用, エコシステム	初期費用が大きい

Ⅲ 本年度実施した実証実験

祭りへの参加&民泊体験&郷土料理の露店

- 郷土料理・林業体験・山菜採り体験を含め、地域活性化を模索

5月2日～4日	越代のさくら祭り, 民泊体験（薪割り・登山・山菜採り）
7月13日～14日	八雲神社祭り, 民泊体験（農業体験・林業体験）
9月7日～8日	はっけよい！大久田への参加, 民泊体験
10月12日～13日	やぶさめフェアでの郷土料理出店, 民泊体験

① 民泊体験

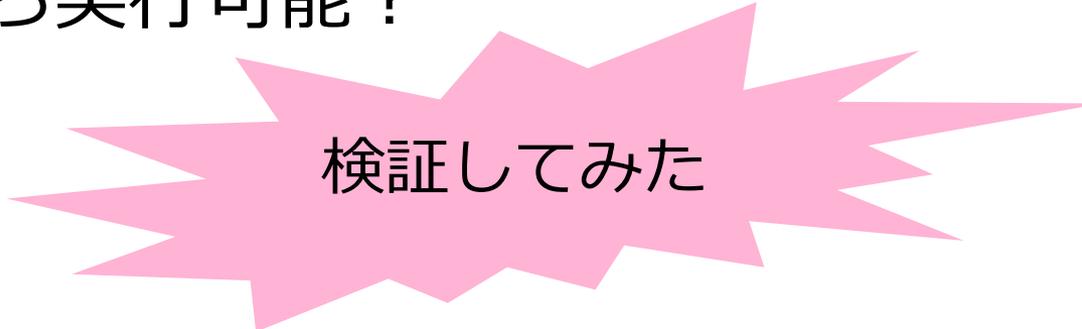
→ 農業・林業体験, 山菜採り体験

<民泊体験の意義>

◆ 地区内に宿泊施設が無い

= 外部との関わりがどうしても薄くなる

→ 民泊形式なら実行可能？



検証してみた

◆ 地区の方々とのさらなる交流・魅力発見

大辻（おおつぺ）山 登山、山菜採り

春



春



林業体験（薪割り体験）



林業体験（林作業見学）

夏



下草刈り



間伐作業



農業体験 → みんなで料理

一年中



① 民泊体験

• 学生からの意見

良い点：星空，ヘルシーな料理，住民との交流，宿泊環境

改善点：一般客の場合にも交流ができるかどうか，宿泊に関する情報の発信，防犯面，虫，寒さ，いくらお金がかかっているのかわからない（顔見知り故の気遣い）

• 受け入れ側の意見

個人での受入は歓迎するが，大人数などのときに他の住民との連携が取りづらい。**役場**が普段から積極的に住民と関わり，役場から個人へ民泊の依頼をしてほしい。

→ 住民同士の関係（気遣い，遠慮） 自発的に行う労力

→ 中立的な立場の行政の出番

公に組織だった支援が必要！

② 祭りへの参加

- 越代のさくら祭り
- 住民の露天の手伝いとして参加



- 八雲神社祭り
- 境内の掃除や儀式に参加



- はっけよい！大久田（湯殿山神社御祭）
- **力士**として相撲大会に参加



- やぶさめフェア
- やぶさめの町・古殿でいちばん盛り上がる行事



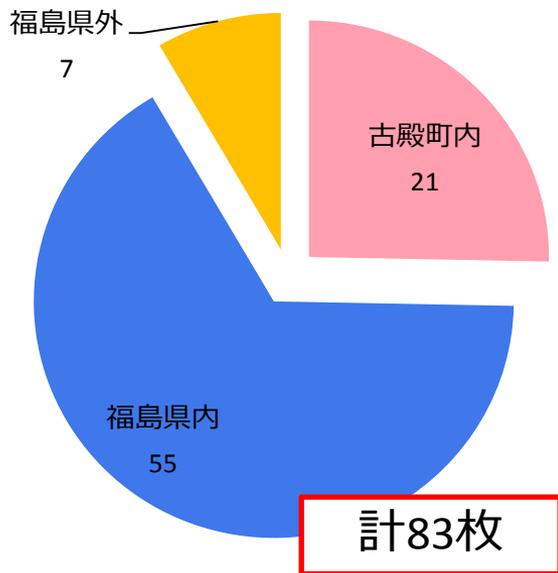
③ やぶさめフェア 郷土料理を活かした露店

- ◆ 昔ながらの味であるすいとん汁の露店を出店
- ◆ お母さん方の協力で、主に古殿町産の野菜を使用
- ◆ 「郷土料理」はどのような客に受け入れられるのか+古殿の魅力について、購入客へのアンケート調査を実施



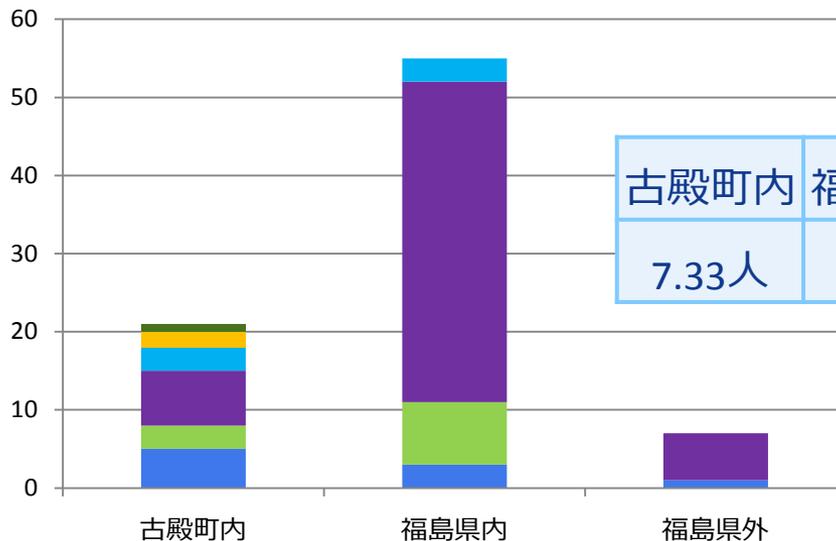
**217杯
売れました**

どこから来たか



誰と来たか

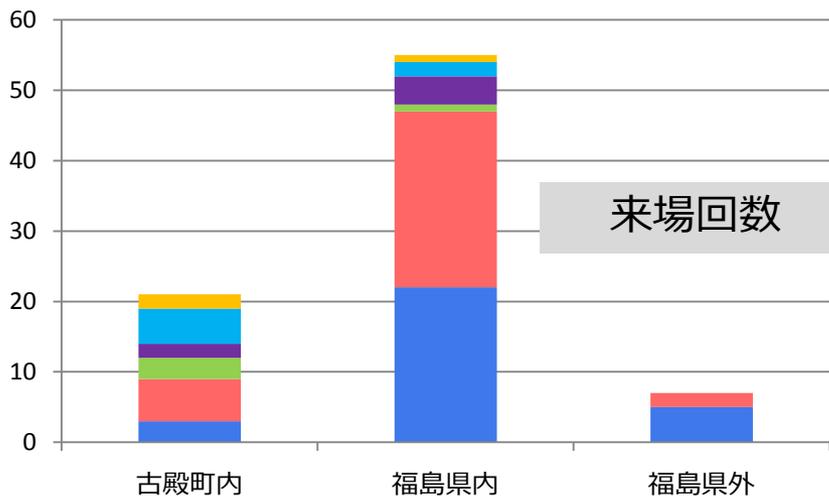
- 1人で
- 恋人と
- 友人と
- 家族と
- その他
- 家族&その他
- 関係者一同



何人で来たか

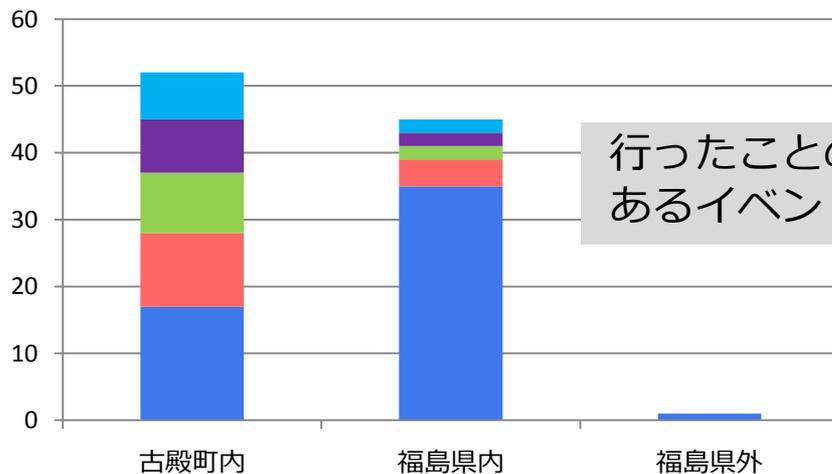
地域	人数
古殿町内	7.33人
福島県内	3.12人
福島県外	2.33人

- 初めて
- 2~5回目
- 6~9回目
- 10回~19回
- 20回以上
- 毎年、何回も



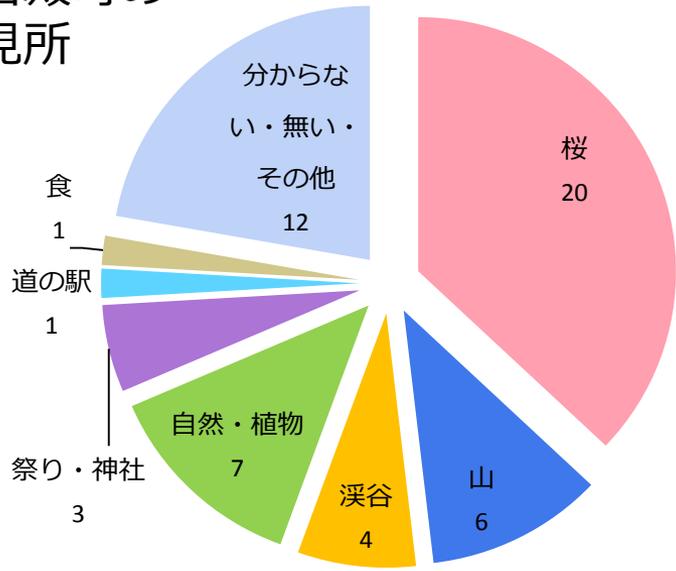
来場回数

- 越代のさくら祭り
- はっけよい!大久田
- その他
- 憩いの森フェスタ
- チェーンソーアート文化祭

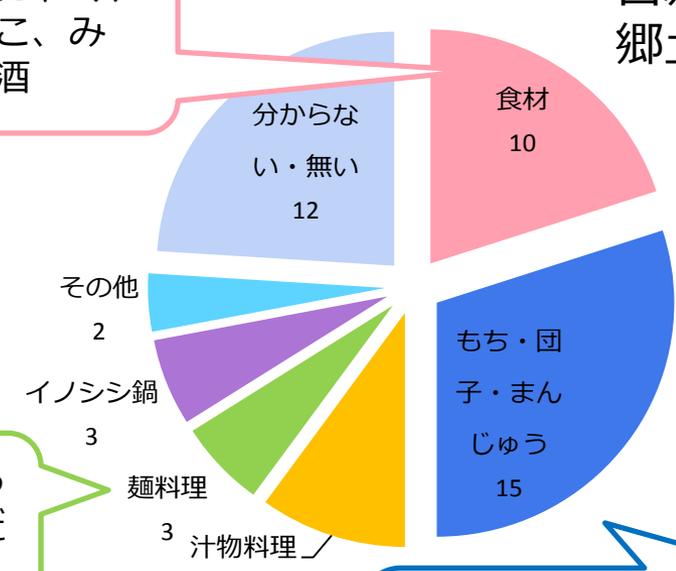


行ったことのあるイベント

古殿町の 見所



古殿町の 郷土料理

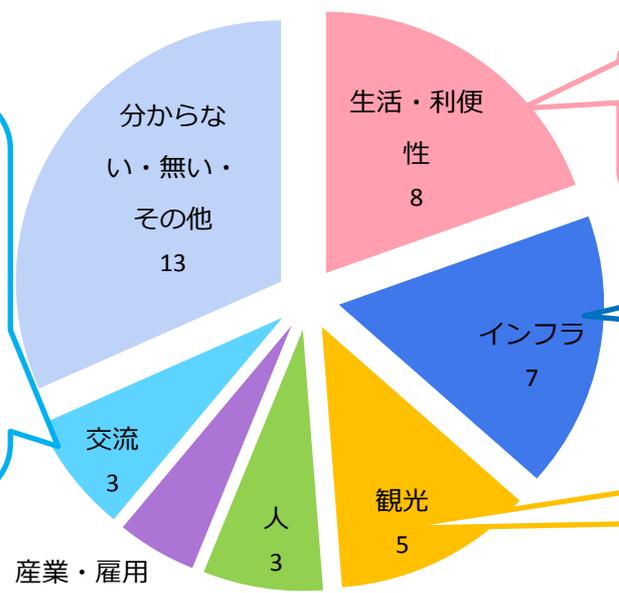


こんにやく、きのこ、みそ、酒

そば、じゅうねん冷やしだれうどん

ゆでもち、凍み餅、じゅうねんおはぎ、ねむった焼き、かぼちゃまんじゅう、あげまんま

古殿町に ほしいもの



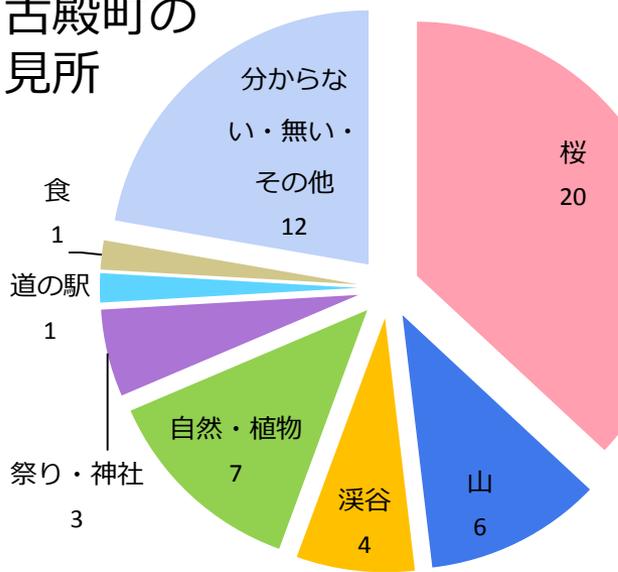
大学生と住民で作る市民農園、地元住民が連携できる交流の場、都市住民と共有の宿泊所、都市交流の場

スーパー、デパート、食堂、訪問医療

文化センター、子供の遊び場、公園、図書館

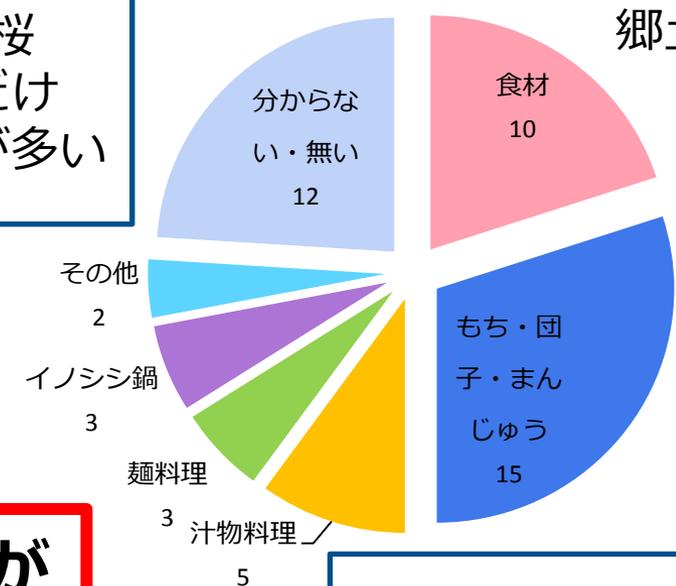
宿泊所、農家民宿、温泉、乗馬体験、流鏝馬が常に見られる場所

古殿町の 見所



見所は自然や桜
「食」は1人だけ
「分からない」が多い

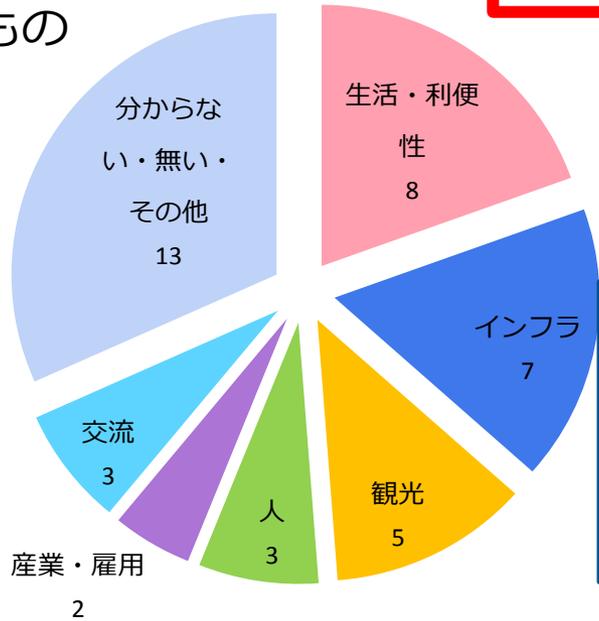
古殿町の 郷土料理



料理は知っているが、魅力に感じない人が多い

アピールが必要！！

古殿町に ほしいもの



生活に必要なものを
挙げる人が多い
宿泊場所、都農交流
などを求める声も

**民泊や
体験活動の
有効性**

IV まとめ

- これまで普段の生活の中にあった当たり前のものが、外から見ると新鮮.....地域活性化のために活かしていく
- 実際にそれらを活用し、民泊・農林業体験や、祭りでの郷土料理の出店を行なった。
- 体験活動は新鮮で面白く、都農交流に充分活かせるものだった。
- 民泊では、地区の魅力を満喫できることと同時に、住民が自発的に行うには難しいことが分かった。公的支援の重要性を感じた。
- 郷土料理の出店は大盛況！
- アンケート結果から、魅力のさらなる発信が必要だと分かった。

→ 昨年度提案した活性化策は地域活性化の可能性が高い。

住民が積極的に取り組めるよう、公的な支援も重要

ご清聴ありがとうございました

